

前照灯・副灯



パーフェクトブックで
お楽しみください。

パーフェクトブックで
お楽しみください。

①前照灯…メインで使う前照灯です(型番 LP403 : 32V-150W)。

②副灯(シールドビーム)…前照灯が切れた場合に、代わりに照らす副灯です。シールドビームともいいます(型番 LP405 : 32V-150W)。副灯は、昭和 45(1970)年に青森機関区で装備されたものらしいです。副灯が装備された理由は、交流電化区間での前照灯の交換を避けるためです。前照灯の球切れが起これば、もちろん電球の交換を行わないといけません、東北地方など交流の電化区間には、架線に 20000V もの電圧が掛っているので、架線に触れるばかりか、架線に 30cm 近づくだけで感電をしてしまいます。そのためにも、もし、前照灯が切れた場合には、代わりに副灯を点灯して、その場をしのぎます。

前照灯は、運転士が前を見るためのもの、というよりも、どちらかというと「列車がいるよ」という合図のため…つまり、「前部標識」という意味合いのほうが強いです。

鉄道に関する技術基準第 119 条(合図及び標識)には、前部標識として、夜間は白色灯を 1 個以上付けることとなっていて、昼間は、特に前照灯は点灯しなくてもよい、となっています。(⇒p51「標識灯(尾灯)」)



ちなみに、D51688 の前照灯の下には、“架線注意”注意表記板があるのですが…黒く塗りつぶされています…(>o<)

←こんな板です。

もし、この PDF の内容が良かった、と思われた方は、
ぜひ、『D51688 号パーフェクトブック』をお買い上げください。
1 冊 2000 円(フルカラー54 ページ)です。

ちょっとお高いですが、全てフルカラーの写真を入れたら、こうなってしまいました。

なお、パーフェクトブックの売上金は、D51688 号保存協力会の、研修費用等に
充てられます。

パーフェクトブックが現在販売されている場所は、
岡崎市南公園 交通広場、管理棟の 1 階窓口(木曜日は休園日)です。
または、月 1 回の管理清掃が行われているときに、清掃を行っている、保存協力
会員にお問い合わせをしていただいても結構です。

D51688 号機は、現在、愛知県岡崎市にある、岡崎市南公園 交通広場で、
静態展示が行われています。

もちろん、(休園日でも)柵の外からは、いつでも見ることは出来ますが、
月 1 度、第 2 日曜日の 9:00~11:00 の間に、管理清掃のために、柵が開けられま
すので、より近くで見ることが出来ますし、運転席内に入ることも出来ます。

南公園に来られた際のお土産としても「D51688 号パーフェクトブック」を、
ぜひ、どうぞ♪

※ぜひ、D51688 号に会いに来ていただきたいのですが、どうしても無理で、
パーフェクトブックを買っても良いよ、という方は、以下のメールでも受け付
けています(別途、送料・手数料がかかる場合があります)。

販売代行窓口：d51688-pb@azutelier.jp

このファイルを改変すること(特にこのページを切り離すこと)を禁じます。

©加藤あずき / D51688 号蒸気機関車保存協力会